

歴史ある中世の公事貢納を現代に再現

骨寺村荘園の米納めに約100人が参加

本寺地区地域づくり推進協議会が主催する「骨寺村荘園中尊寺米納め」は12月13日、本寺地区で行われ、県内外から参加した約100人が荘園米などを中尊寺に貢納しました。

出発式で同協議会の佐藤勲会長は「遠方からの参加者に感謝したい。先人の営みに思いをはせて、心に残る米納めにしたい」とあいさつ。一行は米俵やまきなどを背負い、駒形根神社を出発。3時間をかけて、中尊寺の経蔵に貢納しました。岩手大4年の菅原麻美さん(22)は「本寺の歴史や文化に興味がある。参加できてうれしい」と話してくれました。「米納め」は中世の公事貢納を復活させたもので、今年で9回を数えます。



地元高校生が躍動の舞を披露

大東町天狗田代々神楽が3年ぶりの上演

大東町沖田の天狗田代々神楽(菊池一美代表、会員12人)の上演会は12月13日、天狗田生活改善センターで開かれ、3年ぶりの地元上演に集まった約150人の地域住民らから盛んな拍手が送られました。

同神楽は、大正期に伝承された南部神楽。鶏舞には、地元の高校生5人が出演し、会場から大きな声援が送られていました。そのほか、国指定重要無形民俗文化財などに登録されている花巻市の岳神楽など3団体も出演しました。

菊池代表は「地域でつむがれてきた神楽を、後世につないでいけるよう頑張りたい」と話していました。



不要になった古着と小型家電を回収

資源を有効活用してエコなまちづくりを

家庭で不要になった古着回収と小型家電特別回収は12月5日、市役所本庁で行われ、約700人から8.4トンの古着と約200人から4トンの小型家電を回収しました。

これは、資源の有効活用と廃棄物の減量を目指し、昨年9月から各支所を持ち回りで実施。8地域で合わせて古着27.3トン、小型家電10.9トンを回収しました。古着は国内、東南アジアやアフリカなどで再利用します。衣類として再利用できないものは加工され、車のクッション材などに。小型家電は、国が認定している事業者へ引き渡し、資源として活用されます。



冬のレジャー・アイススケートを満喫

千厩アイスアリーナ・今シーズンの営業を開始

千厩アイスアリーナは12月5日、今シーズンの営業を開始しました。同日は無料開放ということもあり、オープンを心待ちにした大勢の親子連れなどが初滑りを楽しみました。

開館セレモニーで、関係者らがテープカットで営業開始を祝福。来場者は、手をつないで滑ったり、かけっこをしたりして思い思いにスケートを楽しんでいました。一番乗りで来場した佐藤綾音さん(千厩小6年)は「スケートが大好き。オープンを楽しみにしていた。友達と来たい」と話してくれました。

同施設は1994年に開業し、今年で22年目。今シーズンは、3月21日まで営業します。

重ねた歳月、刻んだ年輪

百年目の寿

目まぐるしく変わりゆく時代を、懸命に歩んできた100年。100回目の誕生日を迎えた、優しい笑顔の5人を紹介します。

小野寺トシコさん



Onodera Toshiko



藤沢町黄海
大正4年11月20日生まれ

三味線を愛し、朗らかな笑顔で毎日を過ごす

朗らかな笑顔が印象的なトシコさん。裁縫が得意で、近所の人たちに教えていました。趣味は三味線。免許を持つほどの腕前です。毎朝の日課は、新聞を隅から隅まで読むこと。洗濯や庭の手入れも毎日しています。

三男の徳雄さんは「気配りができ、丈夫な母。元気に100歳を迎えられてうれしい」とのこと。トシコさんは「長寿の秘けつは、心配しないで笑顔で過ごすこと」と話し、涙ながらに家族に感謝していました。

千葉ナオミさん



Chiba Naomi



一関市山目
大正4年11月23日生まれ

早寝早起きが日課、新聞記事は欠かさずチェック

「くよくよせず、楽しく生きること」をモットーにしているナオミさん。1935年に20歳で甲子治さんと結婚し、子供5人、孫10人、ひ孫11人、玄孫1人がいます。

記事をチェックするのが日課。長寿の秘けつは、何でも好き嫌いせず食べる。好物はミカンや柿などの果物です。誕生日当日は、28人の親族に囲まれて「祝ってくれてありがとう」と笑顔を見せました。

上野ミチヨさん



Ueno Michiyo



大東町大原
大正4年11月24日生まれ

花壇づくり、ゲートボール、雑貨づくりと活発に活動

子6人、孫11人、ひ孫12人がいるミチヨさんは、1937年に徳雄さんと結婚。夫婦で葉タバコや養蚕など、農業に従事しました。趣味はゲートボールと雑貨づくり。花が好きで、自宅に自慢の花壇をつくりました。好き嫌い

をしないミチヨさんの大好物はコーラ。1年前までは、お酒も嗜んでいました。孫の正則さん(52)は「元気に長生きしてほしい」と話し、ミチヨさんは「みんなが集まってくれてうれしい」とほほ笑んでいました。

伊藤功子さん



Ito Katsuko



藤沢町藤沢
大正4年11月28日生まれ

何でも挑戦。趣味が高じ老人クラブでも活躍

1935年に辰雄さんと結婚した功子さん。二人で水稲と葉タバコ栽培を営み、4人の子供を育てました。孫は2人、ひ孫は6人います。

焼き祭りに出品していました。「頑張り屋で負けず嫌い。何にでもチャレンジした」と話すのは息子の求さん。好き嫌いせず食べることが長寿の秘けつ。親族や入所者が誕生日を祝うと、ニコリとほほを緩めていました。

佐藤きみさん



Sato Kimi



藤沢町藤沢
大正4年11月30日生まれ

若いころは北海道まで田植えの出稼ぎに

きみさんは1942年に27歳で徳治さんと結婚。子供4人、孫9人、ひ孫11人がいます。80歳頃までアーク牧場で草刈りのアルバイトをし、90歳を過ぎても農業をしていました。長寿の秘けつは、くよくよせず、

我が道を行くことです。娘の京子さんは「優しさで厳しさを併せ持つ自慢の母親。これからも長生きしてほしい」と話します。誕生日当日は、親族に囲まれてうれしそうな表情を見せていました。